

5 病院事業

(1) 事業数及び経営規模

平成24年度における県内の市町村等が経営する病院事業の数は前年度と同数の18事業で、その病院数は前年度と同数の28病院となっている。なお、事業数及び病院数のうち、1事業1病院（女川町）は想定企業会計である。

※ 想定企業会計とは、従前は公営企業会計として特別会計を設置していたが、現在はこれを廃止し、一般会計等において精算及び地方債の償還を行っている場合等において、決算統計上、これに係る一切の収支を一般会計等から分別し、当該事業に係る公営企業会計が設けられているものと想定し、当該想定会計において経理されたものとして取り扱っている会計のことをいう。

病院（想定企業会計を除く。）を経営主体別にみると、市営が17病院、町営が6病院、一部事務組合営が4病院となっている。

【市営：7事業17病院】

仙台市、石巻市（3病院）、塩竈市、気仙沼市（2病院）、登米市（3病院）、栗原市（3病院）、大崎市（4病院）

【町営：6事業6病院】

蔵王町、川崎町、丸森町、涌谷町、美里町、南三陸町

【一部事務組合営：4事業4病院】

白石市外二町組合、黒川地域行政事務組合、加美郡保健医療福祉行政事務組合、みやぎ県南中核病院企業団

経営規模別にみると、300床以上は前年度と同数の6病院、200床以上300床未満も前年度と同数の2病院、100床以上200床未満も前年度と同数の5病院、50床以上100床未満も前年度と同数の7病院、50床未満も前年度と同数の7病院となっている。このうち、300床以上の病院は、仙台市立病院（525床）、大崎市民病院本院（456床）、気仙沼市立病院（451床）、みやぎ県南中核病院（310床）、公立刈田総合病院（308床）及び栗原市立栗原中央病院（300床）で、いずれも地域の基幹病院として機能している。

なお、病院種別では、すべて一般病院に該当しており、このうち救急告示病院は、前年度と比べ1病院減少し25病院（27病院のうち、気仙沼市立本吉病院及び公立志津川病院以外の病院）となっている。

また、地方公営企業法の規定の全部を適用している事業は前年度に比べ1事業増加し7事業（仙台市、塩竈市、登米市、栗原市、大崎市、涌谷町及びみやぎ県南中核病院企業団）、一部を適用している事業は前年度から1事業減少し9事業、指定管理者制度（代行制）導入は前年度と同数の1事業（黒川地域行政事務組合）となっている。

第1表 経営主体別・経営規模別の状況

（単位：病院、事業、％）

経営規模	市		町		一 組 営		計		構 成 比	
	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	
300床以上	4	1,732	0	0	2	618	6	2,350	22.2	54.4
200床以上300床未満	2	464	0	0	0	0	2	464	7.4	10.7
100床以上200床未満	3	411	1	121	1	170	5	702	18.5	16.3
50床以上100床未満	3	244	3	200	1	90	7	534	25.9	12.4
50床未満	5	192	2	76	0	0	7	268	25.9	6.2
計（病院）	17	3,043	6	397	4	878	27	4,318	100.0	100.0
経営形態	全部適用	5	1	1	7	41.2				
	一部適用	2	5	2	9	52.9				
	指定管理者（代行制）			1	1	5.9				
	計（事業）	7	6	4	17	100.0				

（注）病院数は、年度末現在の数である。

(2) 業務の状況

平成24年度末における病床数は4,318床で、前年度に比べ10床(0.2%)増加している。病院別では、みやぎ県南中核病院が10床の増床を行っている。

患者数は、年延入院患者数が1,116千人で、前年度に比べ28千人(2.4%)減少し、年延外来患者数は2,118千人で、前年度に比べ29千人(1.3%)減少している。また、1病院当たりの1日平均入院患者数は127人で、前年度に比べ1人(0.8%)減少し、1病院当たりの1日平均外来患者数は329人で、前年度に比べ1人(0.3%)増加している。

病床利用率は71.0%で、前年度に比べ0.8ポイント低下している。このうち、一般病床利用率は71.1%で、前年度に比べ0.9ポイント低下している。

平成24年度末における職員数は4,747人で、前年度に比べ9人(0.2%)増加している。

第2表 病床数及び患者数の推移

年 度		20	21	22	23	24	対前年度比較	
							b - a	(c/a)
項 目					a	b	c	×100(%)
年 延 患 者 数 (千人)	入 院	1,318	1,278	1,233	1,144	1,116	▲28	▲2.4
	外 来	2,303	2,271	2,177	2,146	2,118	▲29	▲1.3
一 日 平 均 患 者 数 (人/1病院)	入 院	125	121	121	128	127	▲1	▲0.8
	外 来	319	316	313	328	329	1	0.3
病 床 利 用 率 (%)		(76.0)	(75.2)	(75.5)	(72.0)	(71.1)	(▲0.9)	—
		75.6	74.4	75.1	71.8	71.0	▲0.8	—
年度末職員数	B	4,938	4,892	4,991	4,738	4,747	9	0.2
一 床 当 たり 年 度 末 職 員 数	B/A	1.03	1.04	1.09	1.10	1.10	▲0.00	—

(注)1 病床利用率欄の()内は、一般病床分である。

2 平成22年度の年延患者数、一日平均患者数及び病床利用率は、東日本大震災の影響により算出できない南三陸町の数値を除いている。

(3) 経営状況

ア 損益収支の状況

病院事業の経常収益は807億57百万円、経常費用は823億21百万円となっており、この結果、経常収支比率が98.1%となり、前年度に比べ0.7ポイント低下している。

経常利益が生じた事業は3事業(7病院)で、前年度に比べ4事業減少(4病院減少)しており、その額は15億76百万円で、前年度に比べ2億70百万円(20.7%)増加している。

経常損失が生じた事業は14事業(20病院)で、前年度に比べ3事業増加(3病院増加)しており、その額は31億40百万円で、前年度に比べ8億64百万円(37.9%)増加している。

経常収益に特別利益を加えた総収益は813億21百万円、経常費用に特別損失を加えた総費用は826億83百万円となっており、この結果、総収支比率は98.4%で、前年度に比べ3.5ポイント上昇している。

経常損益に特別損益を加減した純損益をみると、13億62百万円の純損失が生じており、前年

度に比べ30億85百万円(69.4%)減少している。

累積欠損金を有する事業は17事業(27病院)で、前年度に比べ1事業減少しており、その額は714億77百万円で、前年度に比べ20億94百万円(2.8%)減少している。

不良債務を有する事業は2事業で、前年度と同じ事業数であるが、その額は2億31百万円で、前年度に比べ3億27百万円(58.6%)減少している。

第3表 病院事業の損益収支状況の推移

(単位:百万円、%)

項 目	年 度	20	21	22	23	24	対前年度比較			
							a	b	b - a	(c/a)
									c	×100
総 収 益 A		79,658	81,739	83,681	81,717	81,321	▲396	▲0.5		
経 常 収 益 B		78,977	81,007	82,942	80,329	80,757	428	0.5		
医 業 収 益 C		70,064	71,704	73,698	70,201	71,624	1,423	2.0		
うち料金収入		63,809	64,771	66,908	63,788	65,204	1,416	2.2		
うち受託工事収益 D		0	0	0	0	0	0	—		
特 別 利 益		682	732	739	1,388	564	▲824	▲59.4		
総 費 用 E		83,796	84,217	86,419	86,164	82,683	▲3,481	▲4.0		
経 常 費 用 F		83,348	83,949	85,318	81,300	82,321	1,021	1.3		
医 業 費 用		79,429	80,204	81,642	77,888	78,913	1,025	1.3		
うち職員給与費		37,378	37,514	38,098	37,331	37,188	▲144	▲0.4		
支 払 利 息		1,971	1,807	1,714	1,619	1,637	18	1.1		
特 別 損 失		448	268	1,101	4,864	362	▲4,502	▲92.6		
経 常 損 益		▲4,371	▲2,942	▲2,376	▲971	▲1,564	▲593	▲61.1		
経 常 利 益		355	573	714	1,306	1,576	270	20.7		
経 常 損 失 G		4,727	3,515	3,090	2,276	3,140	864	37.9		
純 損 益		▲4,138	▲2,478	▲2,738	▲4,447	▲1,362	3,085	▲69.4		
純 利 益		504	821	931	1,424	1,715	291	20.5		
純 損 失		4,641	3,299	3,669	5,871	3,077	▲2,794	▲47.6		
累 積 欠 損 金 H		63,908	66,387	69,124	73,571	71,477	▲2,094	▲2.8		
不 良 債 務 I		1,972	1,636	1,297	558	231	▲327	▲58.6		
経 常 収 支 比 率 B/F		94.8	96.5	97.2	98.8	98.1	▲0.7	—		
総 収 支 比 率 A/E		95.1	97.1	96.8	94.8	98.4	3.5	—		
医業収益 に対する 割 合	経 常 損 失 比 率 G/(C-D)	6.7	4.9	4.2	3.2	4.4	1.1	—		
	累 積 欠 損 金 比 率 H/(C-D)	91.2	92.6	93.8	104.8	99.8	▲5.0	—		
	不 良 債 務 比 率 I/(C-D)	2.8	2.3	1.8	0.8	0.3	▲0.5	—		
総 事 業 数 J		19	18	18	18	18	0	0.0		
経 常 損 失 を 生 じ た 事 業 数 K		15	15	14	11	14	3	27.3		
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 L		18	18	18	18	17	▲1	▲5.6		
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 M		3	3	3	2	2	0	0.0		
総事業数 に対する 割 合	経 常 損 失 を 生 じ た 事 業 数 K/J	78.9	83.3	77.8	61.1	77.8	16.7	—		
	累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 L/J	94.7	100.0	100.0	100.0	94.4	▲5.6	—		
	不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 M/J	15.8	16.7	16.7	11.1	11.1	0.0	—		

(注)不良債務=流動負債-(流動資産-翌年度へ繰り越される支出の財源充当額)

イ 資本収支の状況

病院事業の資本的支出は177億32百万円で、前年度に比べ56億65百万円（24.2%）減少している。このうち、建設改良費は106億83百万円で、前年度に比べ72億15百万円（40.3%）減少しており、企業債償還金は58億58百万円で、前年度に比べ7億7百万円（13.7%）増加している。

資本的支出の財源は、外部資金が企業債や他会計出資金等の148億55百万円であり、内部資金（資本的収入が資本的支出に不足する分の補てん財源）が損益勘定留保資金等の28億77百万円である。

なお、資本的支出に占める建設改良費の割合は60.2%で、前年度に比べ16.3ポイント低下しており、建設改良のための企業債償還金の割合は27.9%で、前年度に比べ7.7ポイント上昇している。

第4表 病院事業の資本収支状況の推移

(単位:百万円、%)

年 度		20	21	22	23	24	対前年度比較		
							b - a	(c/a)	
項 目					a	b	c	×100	
									資本的支出
	企業債償還金	5,086	4,939	5,090	5,150	5,858	707	13.7	
	うち建設改良費のためのもの	4,496	4,522	4,670	4,727	4,940	213	4.5	
	その他	117	181	217	349	1,191	842	241.2	
	計	8,346	8,636	9,157	23,397	17,732	▲5,665	▲24.2	
同 上 財 源	内部資金	1,475	1,753	1,575	1,894	2,877	983	51.9	
	外部資金	6,871	6,883	7,572	21,503	14,855	▲6,648	▲30.9	
	企業債	企業債	5,854	1,846	2,328	14,029	6,317	▲7,712	▲55.0
		うち建設改良費のためのもの	2,285	1,846	2,328	14,029	5,827	▲8,202	▲58.5
	外部資金のうち	他会計出資金	3,506	3,931	3,993	4,559	4,553	▲6	▲0.1
		他会計負担金	200	735	320	368	193	▲175	▲47.5
		他会計借入金	0	0	0	0	0	0	—
		他会計補助金	120	152	148	729	196	▲533	▲73.1
		国・県補助金	118	126	975	1,222	3,385	2,163	176.9
		繰越事業財源(▲)	0	16	190	188	23	▲165	▲87.6
	計	8,346	8,636	9,147	23,397	17,732	▲5,665	▲24.2	
財源不足額		0	0	10	0	0	0	—	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額		0	0	10	0	0	0	—	
実質財源不足額		0	0	0	0	0	0	—	

(注)1 内部資金＝補てん財源合計額－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金

2 外部資金＝資本的支出額－(内部資金＋財源不足額)

ウ 料金収入の状況

料金収入（入院・外来収益）は652億4百万円で、前年度に比べ14億16百万円（2.2%）増加している。

患者1人1日当たりの診療収入は、入院収益が38,633円で、前年度に比べ1,844円（5.0%）増加しており、外来収益が10,429円で317円（3.1%）増加している。

職員1人1日当たりの診療収入は、医師1人当たりでは282,617円で416円（0.1%）増加しており、看護部門1人当たりでは53,624円で892円（1.7%）増加している。

第5表 料金収入の状況の推移

（単位：円、%）

年 度 項 目	20	21	22	23 a	24 b	対前年度比較		
						b - a c	(c/a) ×100	
料 金 収 入（百万円）	63,809	64,771	66,908	63,788	65,204	1,416	2.2	
内 入院収益（百万円）	42,933	42,998	44,772	42,084	43,117	1,033	2.5	
訳 外来収益（百万円）	20,876	21,773	22,136	21,704	22,087	383	1.8	
患者1人1日 当たり診療 収 入	入 院	32,573	33,635	35,674	36,789	38,633	1,844	5.0
	外 来	9,068	9,588	10,021	10,112	10,429	317	3.1
職員1人1日 当たり診療 収 入	医 師	291,497	290,357	294,630	282,201	282,617	416	0.1
	看護部門	51,994	52,231	54,081	52,732	53,624	892	1.7

（注）平成22年度の患者1人1日当たり診療収入及び職員1人1日当たり診療収入は、東日本大震災の影響により算出できない南三陸町の数値を除いている。

エ 他会計繰入金の状況

他会計からの繰入金（借入金を含む。）は、収益的収入（特別利益を含む。）に計上される繰入金が118億95百万円、資本的収入に計上される繰入金が49億42百万円、合わせて168億37百万円で、前年度に比べ20億54百万円（10.9%）減少している。

収益的収入に計上される他会計からの繰入金の総収益に対する割合は14.6%で、前年度に比べ1.6ポイント低下しており、資本的収入に計上される他会計からの繰入金の資本的収入合計に対する割合は33.2%で、前年度に比べ6.7ポイント上昇している。

病床1床当たりの他会計からの繰入金は38万9千円で、前年度に比べ38万9千円（9.1%）減少している。

第6表 他会計からの繰入金の状況の推移

（単位：百万円、%）

項 目		年 度	20	21	22	23 a	24 b	対前年度比較	
								b - a c	(c/a) ×100
他会計からの繰入金	収益的収入 A		11,946	12,705	12,790	13,236	11,895	▲1,341	▲10.1
	うち	負担金	9,386	9,932	10,196	9,458	9,226	▲231	▲2.4
		補助金	2,047	2,151	1,965	3,243	2,126	▲1,117	▲34.4
		特別利益	513	622	630	536	543	7	1.4
	資本的収入 B		3,826	4,818	4,461	5,656	4,942	▲714	▲12.6
	うち	出資金	3,506	3,931	3,993	4,559	4,553	▲6	▲0.1
		負担金	200	735	320	368	193	▲175	▲47.5
		借入金	0	0	0	0	0	0	—
		補助金	120	152	148	729	196	▲533	▲73.1
		計 (A+B) C		15,772	17,523	17,251	18,891	16,837	▲2,054
総	収益 D		79,658	81,739	83,681	81,717	81,321	▲396	▲0.5
	資本的収入 E		9,845	6,883	7,639	21,335	14,864	▲6,471	▲30.3
繰入率	総収益に対する繰入率 A/D		15.0	15.5	15.3	16.2	14.6	▲1.6	—
	資本的収入に対する繰入率 B/E		38.9	70.0	58.4	26.5	33.2	6.7	—
一床当たり繰入金	収益的収入 (千円)		2,503	2,698	2,787	3,004	2,755	▲249	▲8.3
	資本的収入 (千円)		802	1,023	972	1,284	1,144	▲140	▲10.9
	計 (千円)		3,305	3,721	3,759	4,288	3,899	▲389	▲9.1

※ 一床当たり繰入金 = $\frac{\text{他会計繰入金}}{\text{年度末病床数}}$

オ 職員給与費の状況

職員1人当たり平均給与月額、医師が14万5千7526円、看護師が4万4千5292円、准看護師が4万7千854円、事務職員が5万0千582円、その他の職員が4万2千8234円、全職員平均では5万5千2822円で、前年度に比べ815円（0.1%）増加している。

第7表 職員別給与(平均給与月額)の状況の推移

(単位:円、%)

項目 \ 年度	20	21	22	23	24	対前年度比較	
						b - a	(c/a)
				a	b	c	×100
医師	1,502,660	1,508,101	1,490,980	1,476,590	1,457,526	▲19,064	▲1.3
看護師	457,286	450,509	445,861	443,400	445,292	1,892	0.4
准看護師	517,511	503,378	487,603	469,958	470,854	896	0.2
事務職員	514,617	506,612	517,860	508,972	505,582	▲3,390	▲0.7
その他職員	464,615	450,415	438,311	432,573	428,234	▲4,339	▲1.0
全職員	566,672	562,322	558,043	552,007	552,822	815	0.1

(注)1 管理者及び臨時職員を除く。

2 平均給与月額 = (基本給 + 手当) / 年間延職員数

3 平成22年度は、東日本大震災の影響により算出できない南三陸町の数値を除いている。

カ 業務量の状況

職員1人当たりの患者数は678人で、前年度に比べ4人（0.5%）減少しており、職員1人当たりの料金収入は1,367万5千円で、前年度に比べ45万7千円（3.5%）増加している。

病床100床当たりの職員数は、医師が15.2人、看護部門職員が78.7人、全職員では130.5人で、前年度に比べ1.3人（1.0%）増加している。

第8表 職員業務量の状況の推移

項目 \ 年度	20	21	22	23	24	対前年度比較		
						b - a	(c/a)	
				a	b	c	×100(%)	
職員1人当たり患者数 (人)	732	723	699	682	678	▲4	▲0.5	
職員1人当たり料金収入 (千円)	12,904	13,200	13,366	13,218	13,675	457	3.5	
病床100 床当たり 職員数	医師 (人)	13.2	13.7	14.3	14.7	15.2	0.5	3.4
	看護部門 (人)	71.8	73.1	77.0	78.5	78.7	0.2	0.3
	全職員 (人)	115.6	119.1	125.1	129.2	130.5	1.3	1.0

(注) 平成22年度の職員1人当たり患者数は、東日本大震災の影響により算出できない南三陸町の数値を除いている。

キ 材料費の状況

薬品等の医療材料費は144億81百万円で、前年度に比べ3億22百万円（2.3%）増加している。これを料金収入に対する割合で見ると22.2%で、前年度と同数になっている。

医療材料費のうち、薬品費は78億83百万円で、前年度に比べ31百万円（0.4%）増加しており、患者1人当たりの薬品費は2,438円で、前年度に比べ51円（2.1%）増加している。

薬品使用効率は、投薬分が126.5%、注射分が85.5%、平均で100.4%となっており、前年度に比べ3.6ポイント低下している。

第9表 料金収入に対する材料費の状況の推移

(単位:百万円、%)

項 目		年 度					対前年度比較		
		20	21	22	23 a	24 b	b - a c	(c/a) ×100	
料 金 収 入		63,809	64,771	66,908	63,788	65,204	1,416	2.2	
医 療 材 料 費		15,075	15,453	15,784	14,159	14,481	322	2.3	
う ち	薬 品 費	8,491	8,724	8,958	7,853	7,883	31	0.4	
	そ の 他 材 料 費	6,584	6,729	6,826	6,306	6,597	291	4.6	
料金収入 に対する 割 合	医 療 材 料 費		23.6	23.9	23.6	22.2	22.2	0.0	—
	う ち	薬 品 費	13.3	13.5	13.4	12.3	12.1	▲0.2	—
		そ の 他 材 料 費	10.3	10.4	10.2	9.9	10.1	0.2	—
患者1人当たり薬品費(円)		2,345	2,458	2,607	2,387	2,438	51	2.1	
薬品使用 効 率	投 薬		126.2	123.8	123.1	135.3	126.5	▲8.8	—
	注 射		100.8	85.4	85.4	86.6	85.5	▲1.1	—
	平 均		110.6	99.7	99.9	104.0	100.4	▲3.6	—

(注)1 平成22年度の患者1人当たり薬品費は、東日本大震災の影響により算出できない南三陸町の数値を除いている。

2 平成22年度の薬品使用効率は、東日本大震災の影響により算出できない石巻市立病院、石巻市立雄勝病院及び気仙沼市立本吉病院の数値を除いている。